

富士ビームライン 実験エリア放射線安全インターロック

システム 試験用チェックシート

2007年9月21日 坪山 透

1. 入域可能な状態と試験項目

- ドアを開けた状態で「開」ボタンをおしても、なにもおこらない。
- B 5 L 電源は稼働状態である。

2. ビーム使用状態への移行のための操作と試験項目

入り口ドアを閉めた状態で「開」ボタンを押す

- 10 秒間ブザーがなる。
- 遮蔽壁のパトライトおよび表示灯が点灯する。
- 入り口ドアのパトライトおよび表示灯が点灯する。
- その間にビームシャッターが開く

3. ビーム不使用状態への移行のための操作と試験項目

ビームシャッターが開いている状態で「開」ボタンを押す

- 遮蔽壁のパトライトおよび表示灯が消灯する。
- ドアのパトライトおよび表示灯が消灯する。
- ビームシャッターが閉じる。
- B 5 L 電源は稼働状態である。

4. インターロック（事故）状態への移行のための操作と試験項目

ビームシャッターが開いている状態でドアを開ける

- ビームシャッターが閉じる
- 電磁石 B 5 L の電源は停止状態になる。
- インターロック状態になりブザーが断続して鳴る
- すべてのパトライト・表示灯が消灯する
- 開ボタンをおしてもこの状態は継続する。
- さらにドアを開閉してもこの状態は継続する。

5. インターロック（事故）状態を解除するための操作と試験項目

「閉ボタン」を押す

- 電磁石 B 5 L の電源が運転可能になる。
- ブザーが停止する。
- ビームシャッターは閉じたままである。

問題が生じた場合は坪山（内線 4 5 7 4）に連絡すること。